

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学 校 名 新 潟 市 立 横 越 中 学 校  
(※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫 ）  
※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む  
所在地 〒 9 5 0 - 0 2 0 8  
新潟市江南区横越中央 3 - 4 - 1  
E-mail j404yokogoshi1@city-niigata.ed.jp  
Website www.yoko-chu.city-niigata.ed.jp/  
幼児児童生徒数 男子 1 6 1 名 女子 1 4 8 名 合計 3 0 9 名  
幼児・児童・生徒の年齢 1 2 歳 ~ 1 5 歳

### 2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 3 0 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

#### 1 人権感覚を養い高める活動「人権プロジェクト」の実施

月 1 回の校内人権の日に、互いの人権感覚を磨き合い高める活動を実施した。また、同日を「チャンス相談日」とし、学級担任が日頃から気になる生徒に対して教育相談等を実施した。

##### ① 人権の日全校集会における全校縦割りチームによる S S T

→他者理解と自己開示を促進して、思いやりの心を育て、人権尊重の実践力を養う活動を実施した。

##### ② 全校生徒による、人権作文への取組

→これまでの活動を振り返り、人権に関する考えを深めさせた。

##### ③ 生徒会による思いやり集会の実施

→生徒一人一人が互いに尊重しあい、思いやりをもち、人権感覚を磨くために、メッセージを作成し、それをクラス毎に貼り合わせ生徒玄関に掲示した。

## 1 人権感覚を養い高める活動「人権プロジェクト」の実施

月1回の校内人権の日に、互いの人権感覚を磨き合い高める活動を実施した。また、同日を「チャンス相談日」とし、学級担任が日頃から気になる生徒に対して教育相談等を実施した。

### ① 人権の日全校集会における全校縦割りチームによるSST

→他者理解と自己開示を促進して、思いやりの心を育て、人権尊重の実践力を養う活動を実施した。

### ② 全校生徒による、人権作文への取組

→これまでの活動を振り返り、人権に関する考えを深めさせた。

### ③ 1日人権擁護委員として地域祭りに参加

→生徒一人一人が互いに尊重しあい、思いやりをもち、人権感覚を磨くために、人権擁護委員として、地域の祭りに参加し啓発活動を行った。

## 2 福祉講話、福祉施設訪問 「人間の生き方・地域の福祉を考える」の実施

### ① 福祉現場の現状や障がい者を取り巻く状況を知り、自分の課題テーマを設定する。→児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、福祉施設所長の講話

### ② 調査活動の計画作成→個人調査（図書、インターネット）および調べ学習、ふれあいプラザ福祉体験の準備

### ③ 福祉施設を訪問し、車いす、アイマスク体験や交流活動行い、人権についてレポートを作成し発表会を実施した。

以上の流れで、福祉という視点から生き方や人権について深く考え、今後の自分の生活を見直す活動を実施した。

## 3 「公民」の授業における国際理解の授業の実施

### ○ 南北問題、南南問題を考えるためのシミュレーション授業

- ・シミュレーションを通して、地域格差や国際協力、国際分業を考えさせた。
- ・シミュレーションにより、途上国の厳しい状況や困難な点を模擬体験することにより、日本人として、自分たちに何ができるか、何をすべきか考え

① 福祉施設訪問



② 1日人権擁護委員活動



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 生徒会活動 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

社会福祉協議会や学校図書館にある職業に関する書籍、公民分野の教科書

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習や生徒会活動、教科に位置づけ、地域に発信できる生徒の育成を目指して、地域との連携に重点を置いて指導計画を立てている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

毎年活動内容を蓄積させ、新たに活動を一から計画しなくてもよいようにし、教職員の負担を減らすことで、継続させている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

生徒による自己評価と交流のあった地域の団体からの評価。地域からの評価を生徒にかえすことで、生徒の自信につながった。しかし、その活動にとどまり、自主的な活動につながらない課題がみられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域のコミュニティセンターや人権擁護委員、社会福祉協議会

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

地域の活動や職業の方と接触することによって、地域への関心が高まり、地域の方からも学校の教育活動に協力してもらえるようになった。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

ユネスコスクール認定解除を予定しているため、なし。